（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和　５年　７月　４日（火曜日）　１０時１０分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　　名		負傷　１名		職種　電工		年令　４６才		経験年数１５年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ		切れ・こすれ	感電	その他
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失			その他	

災害の状況

［件　　名］

架線作業において、ＷＰ用ロープのフックを掛け違え、墜落し受傷した。

［作業内容］

今別幹線№.７１～№.７８間の架線作業

［発生状況］

ＷＰ用ロープのフックの掛け違いにより外れて墜落し直下の腕金に右足をぶつけ受傷した。

［被災程度］

右脛骨腓骨近位端骨折，左下腿挫創，左足挫創，左手背部挫創

［服装・装備］

作業服上下，安全靴，革手袋，空調服，安全帽，フルハーネス

原因及び対策

［発生原因］

誤って強度的に弱い工具落下防止用コードの取付金具にフックをかけ，体重を掛けた際に取付金具が破断し，ＷＰ用ロープのフックが解放状態となって墜落した。

［再発防止対策］

乗込み時教育で，D環付近の工具落下防止用コードの取付金具にＷＰ用ロープのフックが掛かって破断した事を周知し，目視・発声確認を徹底するよう指導する。また，昇塔脚に「ナス環ヨシ・フックヨシ・目視ヨシ」の発生確認マグネットシートを掲示し昇塔前に唱和して意識付けを行う。

各作業員の安全装備品の点検を行い，Ｄ環に誤ってＷＰ用ロープのフックが掛かるものがないか確認し，ある場合は直ちに改善するよう指導する。

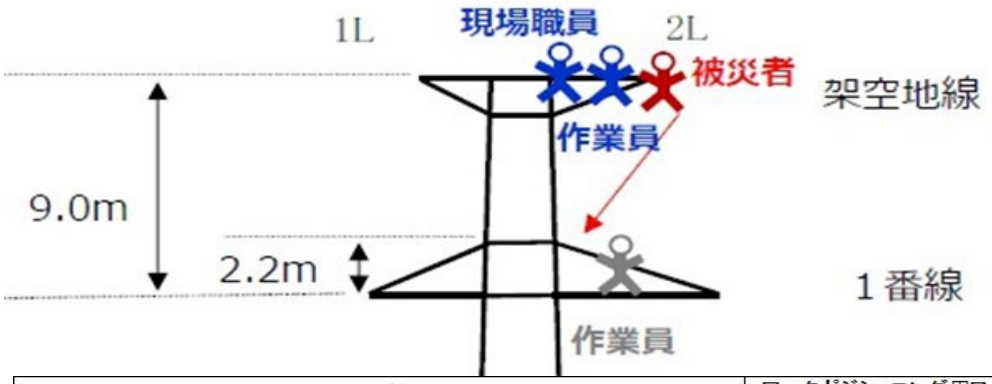
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

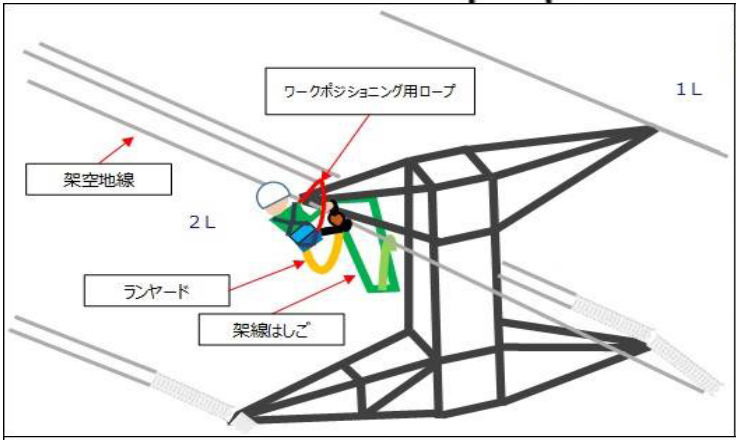
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

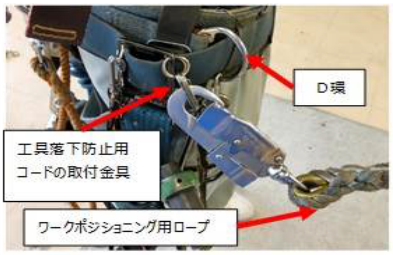
災　害　概　要　図

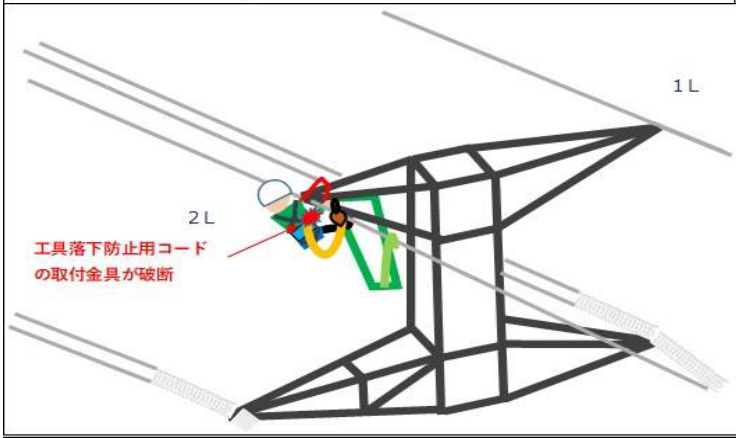
発生状況



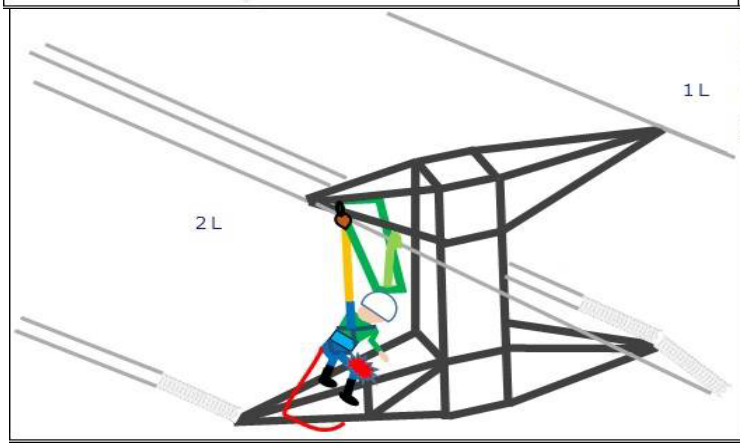


・ワークポジショニング用ロープのフックをD環に掛ける際，D環付近にあった工具落下防止用コードの取付金具に誤って掛けた。





・ワークポジショニング用ロープに荷を掛けた際，工具落下防止用コードの取付金具が破断した。



・ワークポジショニング用ロープが開放状態になり，墜落（※）した。
※墜落制止用器具を正しく使用していたため，ランヤード制動距離までの墜落（＝制動距離で静止）であり，地面までは墜落していない。